

主要国のアカデミーの比較（１）

		アメリカ			
		全米アカデミー連合 National Academy Complex (全米科学アカデミー、全米工学アカデミー、医学院、全米研究評議会の4つの組織の総称)			
		全米科学アカデミー National Academy of Science (NAS)	全米工学アカデミー National Academy of Engineering (NAE)	医学院 Institute of Medicine (IOM)	全米研究評議会 National Research Council (NRC)
1 設立年、根拠		1863年設立、根拠法：全米科学アカデミー設立法（リンカーン大統領署名）による。	1964年設立	1970年設立	1916年設立、設立根拠は1918年の大統領令
2 政府との関係		非政府非営利団体（全米アカデミー設立法に基づき、科学技術的問題に関して政府各省庁の求めに応じて、調査、検討、実験、報告することが規定されている）			
3 カバーしている分野		自然科学が中心（社会科学を一部含む）	工学	医学	
4 会員	1)人数 2)任期 3)報酬 4)選別方法	計2274名。内訳は実働会員1867名、名誉会員85名、外国人会友322名（日本人会友24名）（2001年7月24日） 終身、非常勤（会長は常勤、1期6年2期まで可）。 無報酬だが旅費等の実費は弁済（会長は年俸35万ドル） 毎年、現会員から推薦を受け選出。（2001年は72名の新会員と15名の外国人会友が選出）	計2198名。内訳は実働会員1798名、名誉会員246名、外国人会友154名（日本人会友20名）（2001年7月24日） 無報酬だが旅費等の実費は弁済 毎年、現会員から推薦を受け選出。	計1369名。内訳は、レギュラー会員573名、シニア会員740名、外国人会友56名（日本人会友5名）（2001年7月13日） 無報酬だが旅費等の実費は弁済 毎年、現会員から推薦を受け選出。（2001年は60名のレギュラー会員、5名のシニア会員と5名の外国人会友が選出）	全米アカデミーズにおける実働組織（NRCにおけるアカデミー会員数は約3000人規模。）
5 機能		栄誉、顕彰、審議、調査、政府への助言、議会への助言、科学者の団体、国際対応、科学の普及			
6 主な活動・事業		科学、技術および医学に関し、政府とは独立に助言。政府からの助言依頼に関して、研究調査委員会を設け専門事項を調査し、その審議の結果は報告書審査委員会の審議を経て、報告書等の形で公開。			
7 事務局		職員数：約1100人（NAS：約30人、NAE：約10人、IOM：約200人、NRC：約800-900人、共通の経理部）。事務局長(NAS、NRC)は物理学者。			
8 年間予算	1)総額 2)出資	約2億3363万ドル（約280億円 1ドル=120円）（全米アカデミー連合全体 1999年度） 70%は連邦政府機関のグラントやコントラクト等。 30%は寄附や連邦政府機関以外からの資金。			
9 備考		国際科学会議（International Council for Science: <u>ICSU</u> ）とインターアカデミーパネル（InterAcademy Panel on International Issues: <u>IAP</u> ）のメンバー			

出典：各アカデミーのホームページやパンフレット等。日本学術会議主催シンポジウム「21世紀の科学アカデミーをデザインする」を参照

主要国のアカデミーの比較（２）

	イギリス		フランス
	王立協会（ロイヤルソサイエティ） The Royal Society	ブリティッシュアカデミー The British Academy	フランス科学アカデミー Academy of Sciences
1 設立年、根拠	1660年設立、根拠法：1663年国王チャールズ2世による勅許	1902年設立、根拠法：1902年のエドワード7世による勅許	1666年ルイ14世によって設立
2 政府との関係	登録公益団体（政府からの直接的な諮問はないが、政府に対して独立かつ権威ある助言を行う）	登録公益団体（人文社会学の研究に関する政府支援の大学外のチャンネル）	独立（政府の依頼により、2年毎にフランスの科学技術の状況に関する報告書を作成）
3 カバーしている分野	人文科学を除く全ての科学分野	人文社会学	数学、物理、工学、天文学、化学、生物学
4 会員	1)人数 2)任期 3)報酬 4)選別方法	1)人数 2)任期 3)報酬 4)選別方法	1)人数 2)任期 3)報酬 4)選別方法
5 機能	栄誉・顕彰、卓越した研究とその応用への支援、科学振興・普及、国民の理解増進、政府への助言、国際連絡の促進	栄誉・顕彰、研究支援、国際協調の促進、国民の理解増進	栄誉、顕彰、審議、調査、研究の調整、科学者の団体、普及、科学の振興、政府・他のアカデミー・国民一般への助言、国際対応
6 主な活動・事業	奨学金、育英資金が活動の中心。	人文社会学の先端研究に関する支援や人文社会学の研究に関する問題に対する政府への助言。	大統領やフランス政府の依頼により科学技術に関する報告書を作成。
7 事務局	約115人		14名以内の科学者、38名以内の事務・管理職員
8 年間予算	1)総額 2)出資	1)総額 2)出資	1)総額 2)出資
9 備考	ICSUとIAPのメンバー	国際学士院連合（Union Academique Internationale: UAI）のメンバー	フランス科学アカデミーは、フランス学士院が持つ5つのアカデミーのうちの1つ。ICSUとIAPのメンバー。

出典：各アカデミーのホームページやパンフレット等。日本学術会議主催シンポジウム「21世紀の科学アカデミーをデザインする」を参照

主要国のアカデミーの比較（3）

		ドイツ		
		ドイツ科学・人文科学アカデミー連合 (国内7つの地域アカデミーの連合体) Union of German Academies of Sciences and Humanities (UGASH)	ベルリン-ブランデンベルグ科学・人文科学アカデミー(地域アカデミー) Berlin-Brandenburg Academy of Sciences and Humanities	バイエルン科学・人文科学アカデミー(地域アカデミー) Bavarian Academy of Sciences and Humanities
1 設立年、根拠		1893年Cartelとして設立。1973年に定款制定。1991年アカデミーの役割について連邦政府及び州政府との検討の後、登録組織として発足。	1700年	1759年にマクシミリアン3世ヨーゼフにより設立
2 政府との関係		独立		
3 カバーしている分野		人文、社会、自然科学の分野	人文・社会科学、数学、自然科学、生物学、医学の分野	哲学、歴史、数学、自然科学の分野
4 会員	1)人数 2)任期 3)報酬 4)選別方法	各アカデミーの総計で、正会員約400名、連絡会員約1000名 終身制、65-70才で義務免除となるなど各アカデミーにより異なる、非常勤 報酬なし 各アカデミーが自州分について正会員を選出(一部アカデミーは全国から)。連絡会員は世界中から選出。	197名(会員、連絡会員、名誉会員) 終身、68才になると義務免除となる(Entpflichtungsalter)、非常勤 報酬なし(1年間に22日の奉仕義務がある)	正会員143名、連絡会員154名 終身、70才になると義務免除となる、非常勤 報酬なし 毎年、正会員から推薦をうけ選出。3/4の得票が必要。
5 機能		研究の調整、科学者の団体、国際対応、普及(科学技術政策への貢献は各アカデミーの任務だが、アカデミー連合の任務ではない)	科学政策への関与はしない。専ら、総合研究推進や学術研究基盤形成事業(下欄参照)。	研究の支援、科学振興・普及、栄誉・顕彰、国内・国際対応等
6 主な活動・事業		「アカデミープログラム」の調整と運営。7つのアカデミーの広報と共通イベント等	学際プロジェクト(ゴミエネルギー再生、福祉と公共心、健康スタンダード等)。継続事業(ドイツ語辞典、著名学者の著作出版、歴史的文書の編纂・出版、古代エジプト語辞典等)	39の委員会があり、委員会を通して各研究を支援する。
7 事務局		職員数：7名		
8 年間予算	1)総額 2)出資	7500万ドイツマルク(37億5000万円 1ドイツマルク=50円) 50%が連邦政府より 50%がアカデミーが属する州から	後援会在り(年会費：個人100マルク、法人1000マルク)	ほとんどが州より
9 備考		UAIとIAPのメンバー	UAIのメンバー	UAIのメンバー

出典：各アカデミーのホームページやパンフレット等。日本学術会議主催シンポジウム「21世紀の科学アカデミーをデザインする」を参照